

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	神戸市庁舎周辺整備のあり方について
調査期間	2024年2月22日（木曜）～3月6日（水曜）
設問数	全7問（分岐設問除く）
対象モニター数	8,334名
回答モニター数	3,647名（43.8%）

【調査結果概要】

現在、神戸市庁舎周辺エリアでは再整備を進めており、2022年7月には中央区役所・中央区文化センターが移転整備され、2023年4月には東遊園地がリニューアルオープンしました。また、市庁舎新2号館は、市庁舎や市民利用空間に加え、民間のオフィス・商業・ホテルという多様な用途で構成される複合施設として再整備する計画となっています。

市庁舎周辺がこれまで以上に市民に親しまれるエリアとなるための取り組み等に関するご意見をお伺いし、今後の検討の参考とさせていただくため、本アンケートを実施しました。

市役所周辺エリアの再整備については、「よく知っている」が10.1%、「ある程度知っている」が42.9%、「あまりよく知らないが、聞いたことがある」が30.1%でした。

シティ・ホール像に掲げた項目のうち共感するものについては、「安全・安心を確保し、市民に親しまれ開かれる（41.6%）」、「まちの歴史を継承し、自然環境や都市景観とつながる（37.9%）」、「多様な人材が交流し、国際都市を体現する（11.1%）」「市民や事業者と連携し、市民協働の象徴となる（9.4%）」、という結果でした。

また、シティ・ホールの機能のうち、特に重要だと思えるものについては、「市民の憩い機能（35.8%）」、「行政・防災拠点機能（35.5%）」、「にぎわい・国際交流機能（17.7%）」、「市民活動・協働機能（10.1%）」でした。

市庁舎2号館再整備の市民利用空間の活用については、「マルシェやキッチンカーの出店など、日常的なにぎわいが生まれる場とする」と「音楽イベントやパブリックビューイングの開催など、イベント会場として活用する」が52.8%であり、「来街者や周辺のオフィスワーカー等が気軽に休憩などに利用できる機能を設ける（36.4%）」等の意見がありました。

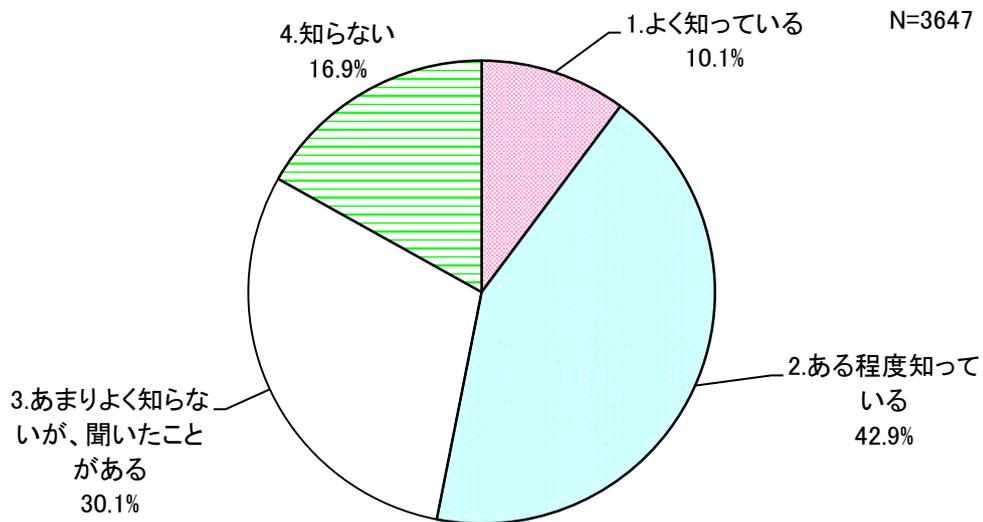
市庁舎周辺エリアを一体感のある魅力的な空間とするために取り組むべきものについては、「安全・安心で歩きやすい歩行者空間の整備」が57.2%、「さらなる緑化の推進による憩いや癒しの空間の創出」が39.5%、「道路や施設間のスペース等での休憩や待ち合わせができる滞留空間の整備」が32.6%という結果でした。

市庁舎周辺エリアの整備にあたり、神戸ならではのシティ・ホールを目指していくという考え方を取り入れることについては、「とても良いと思う」が37.9%、「良いと思う」が51.5%という結果でした。

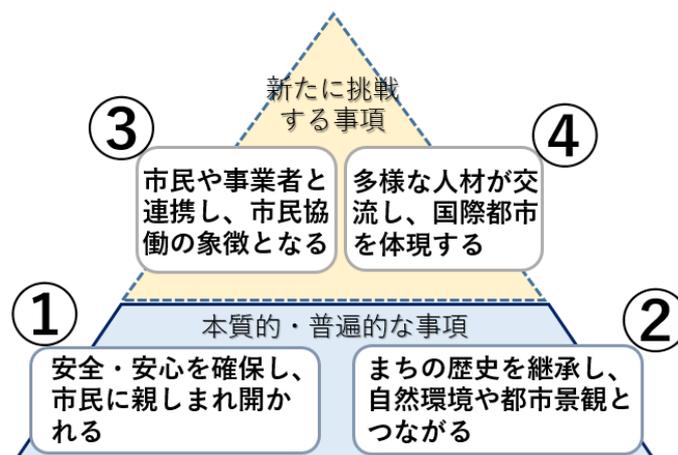
自由記述においては、「神戸のハイセンスで上質な魅力をアピールして、日本の方はもちろん、海外の方にとっても魅力的な都市を目指して欲しい」、「ヨーロッパのシティ・ホールのように、神戸の中核を目指して整備されるとよい」、「東遊園地は以前と比べて明るい空間になったので、歩いて楽しいまちになるとよい」等のご意見をいただきました。

みなさまからいただいたご意見を踏まえ、市庁舎周辺がこれまで以上に市民に親しまれるエリアとなるよう検討してまいります。

問1 市庁舎周辺エリアで、中央区役所・中央区文化センターの移転整備や東遊園地のリニューアル、旧2号館の建替えなど、様々な再整備が進められていることを知っていましたか。

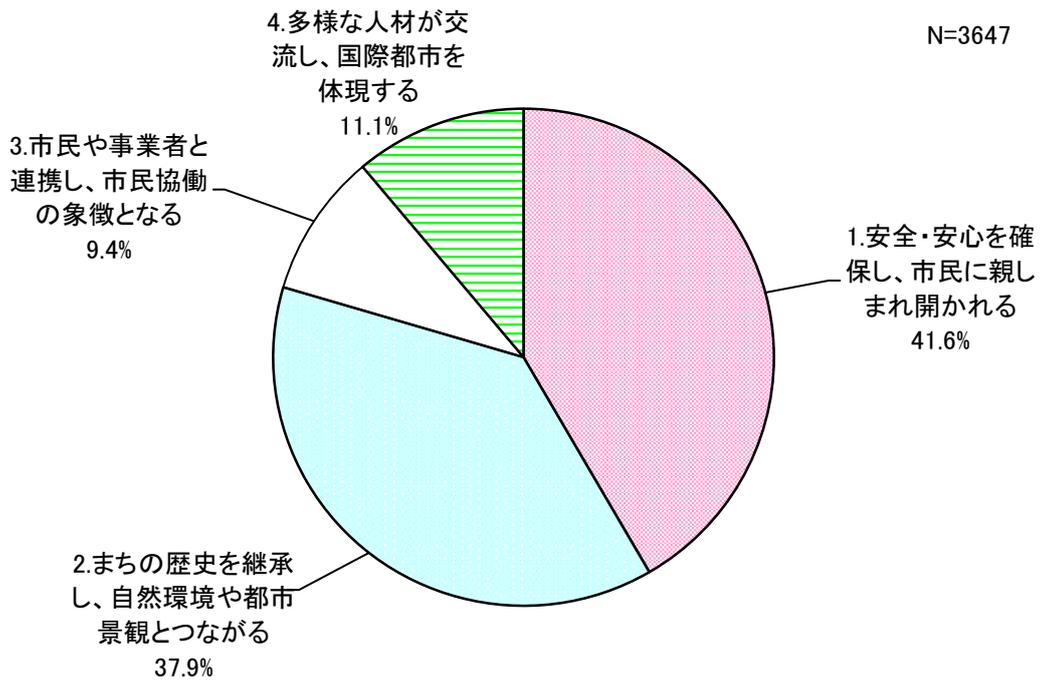


問2 中世ヨーロッパでは、庁舎や教会、市場等が広場を中心に建ち並び、「シティ・ホール」として都市の中核を形成していました。また、国内では、東京都で「東京都シティ・ホール建設計画 基本構想」が掲げられ、1990年に新都庁舎が整備されています。これらを参考に、本市においても、市庁舎周辺エリアが東遊園地やフラワーロードなども含めて、これまで以上に市民に親しまれ、活発な交流が生まれていくような空間を実現していきたいと考えています。このため、広い概念として、目指すべき神戸ならではのシティ・ホールについて『本質的・普遍的な事項』と『新たに挑戦する事項』の2つを軸に、次のとおり設定しました。



【目指すべきシティ・ホール像】

目指すべきシティ・ホール像に掲げた4つの項目のうち、あなたが最も共感するものはどれですか。

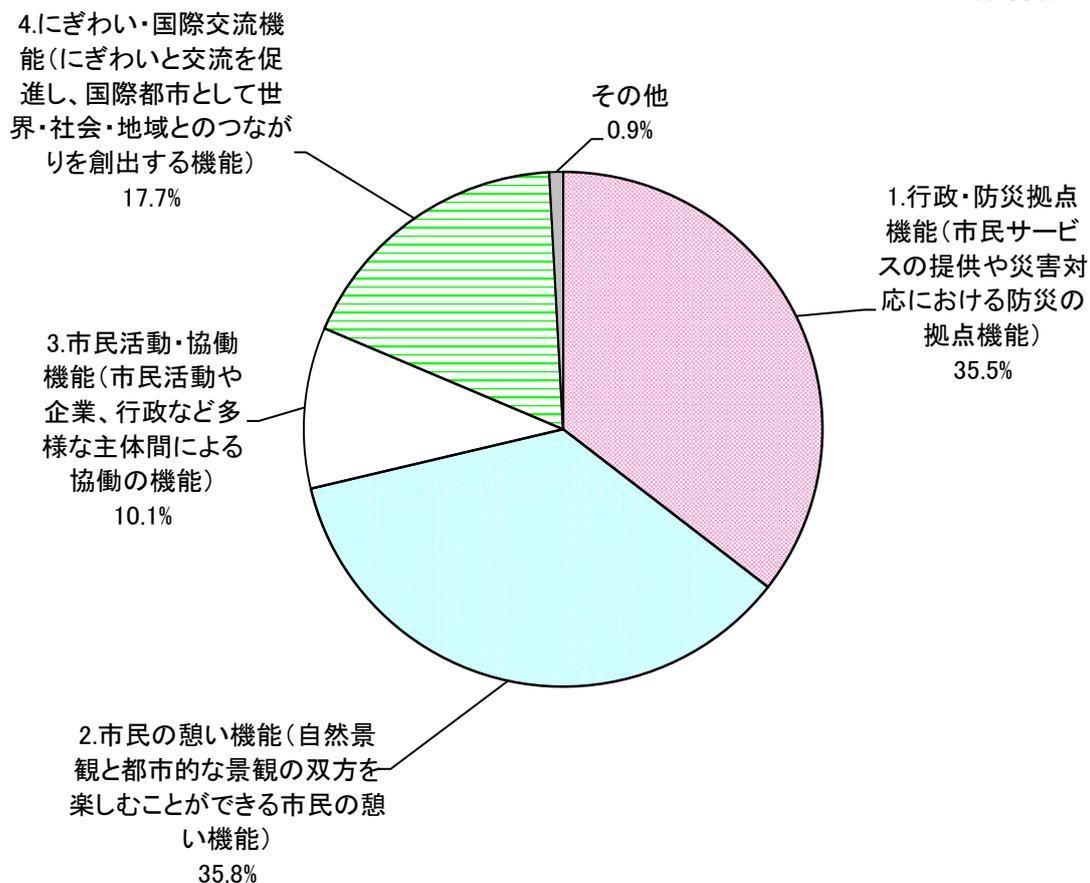


問3 さらに、神戸ならではのシティ・ホールの構成については、市庁舎とその周辺にある東遊園地やフラワーロード等を含めたエリアとし、その中で必要な役割を担う4つの機能を整理しました。



神戸ならではのシティ・ホールの4つの機能のうち、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。

N=3647



その他

- ・子育て世帯が行きやすいこと
- ・三宮駅から少し離れていても、足をのばせるような楽しみがある空間になればと思う
- ・東遊園地が緑が多く、市民が集える場所になることは良いと思う

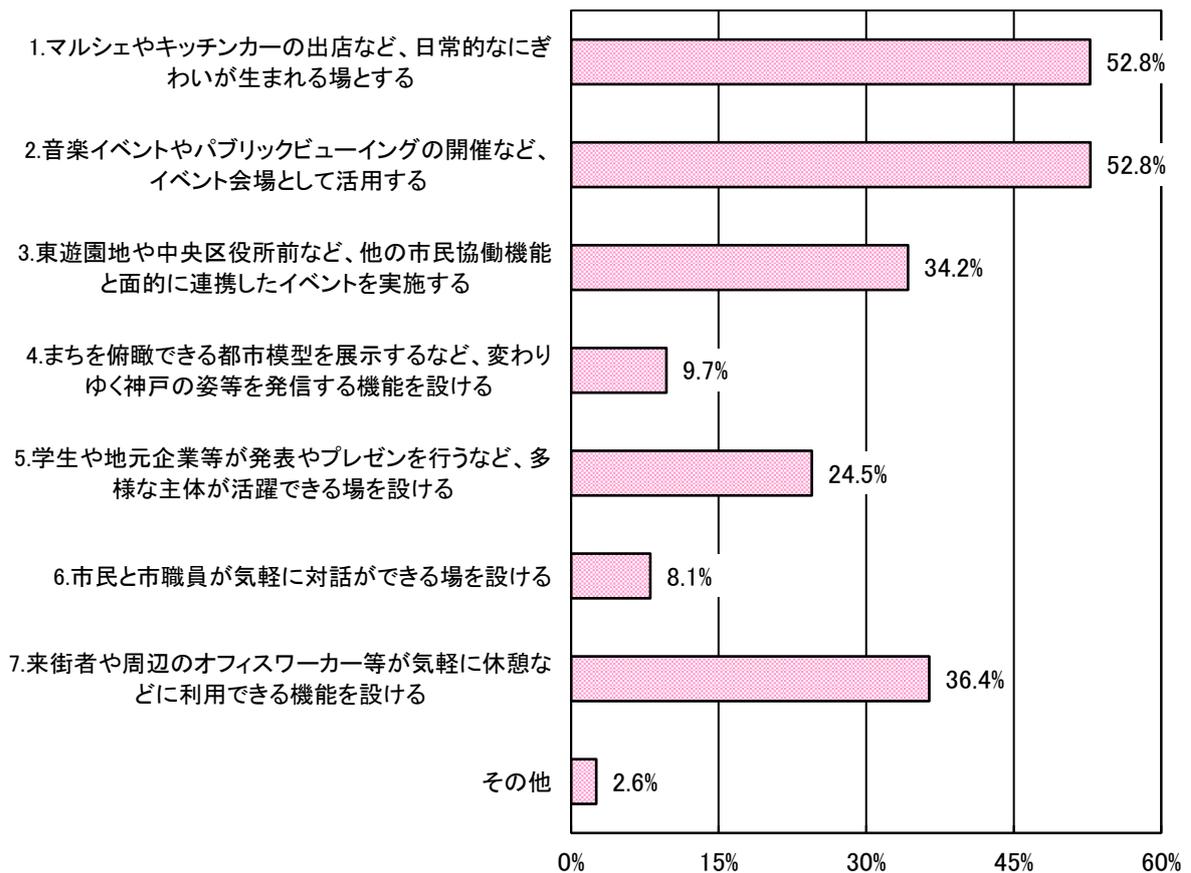
問4 市庁舎2号館の再整備においては、建物1階に市民や来街者が気軽に集い、イベント等にも活用できる「市民利用空間(概ね500㎡の屋内空間)」を整備する予定です。市民活動・協働機能の核として、より多くの方に利用される魅力的な空間となり、神戸への愛着やシビックプライドの醸成等につながることを目指しています。



※市民利用空間（イメージ）

この「市民利用空間」をどのように活用すれば良いと思いますか。（3つまで選択）

N=3647



その他

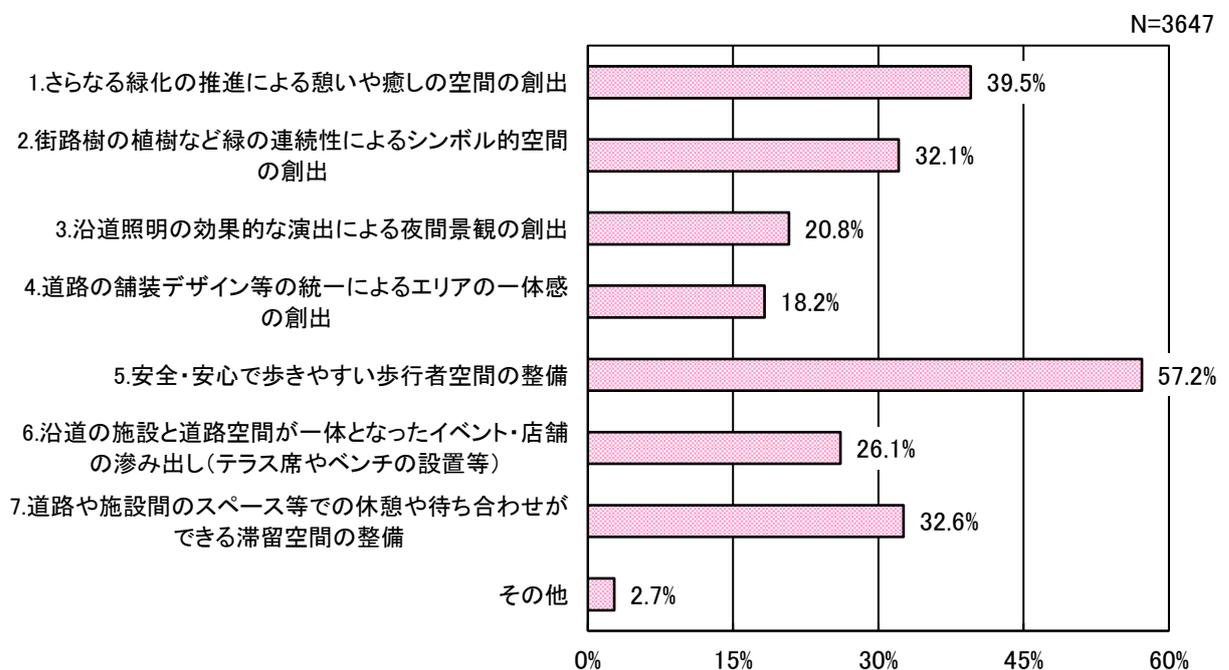
- ・子どもの小さな遊び場や居場所提供に繋がるスペース
- ・地元のアーティストや学生の作品を気軽に発表できる場
- ・色々なジャンルの人の交流会が定期的で開催されている場になったら面白そう

問5 市民の憩い機能の核となる東遊園地やフラワーロードなどにおいては、積極的に緑化を進めるなど周辺環境との調和を図ることで、市庁舎周辺エリアを相互につなげ、一体感のある魅力的な空間を形成していくことを目指しています。



※フラワーロード（山側を見る）

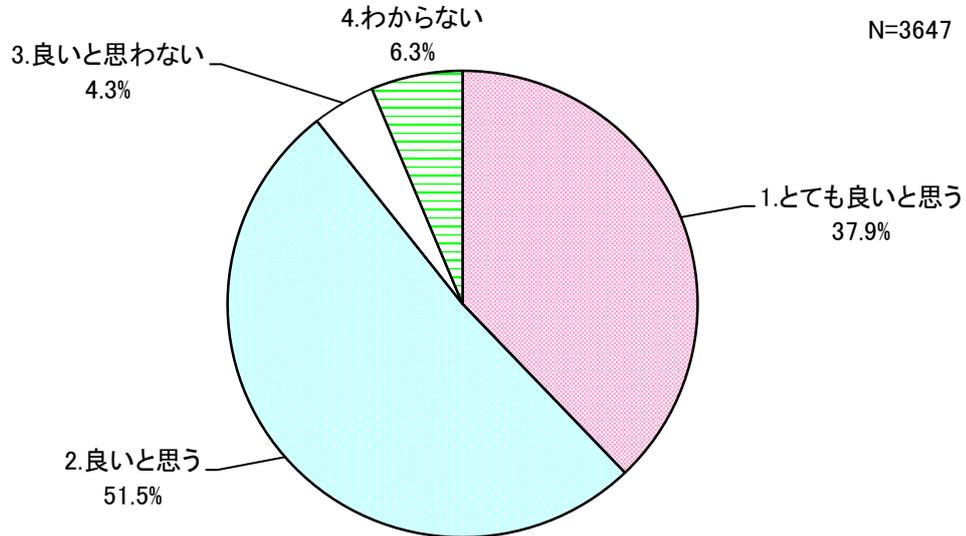
上記の取り組みにあたり、あなたが特に重点的に取り組むべきと考えるものは何ですか。
（3つまで選択）



その他

- ・休憩できる木陰スペースの整備
- ・いつも楽器が鳴っているような楽しく賑やかな空間
- ・歩きながら環境や防災について学べる掲示や仕掛け

問6 以上のように、市庁舎周辺エリアの整備にあたり、神戸ならではのシティ・ホールを目指していくという考え方を取り入れることについて、あなたはどのように思いますか。

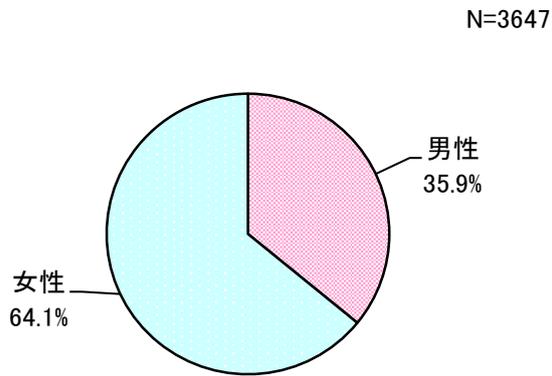


問7 市庁舎周辺エリアの整備について、ご意見やご感想があればご記入ください。

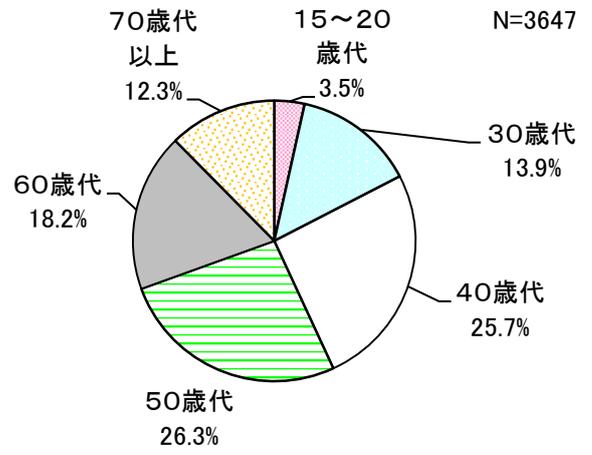
- ・神戸のハイセンスで上質な魅力をアピールして、日本の方はもちろん、海外の方にとっても魅力的な都市を目指して欲しい
- ・ヨーロッパのシティ・ホールのように、神戸の中核を目指して整備されるとよい
- ・東遊園地は以前と比べて明るい空間になったので歩いて楽しいまちになるとよい
- ・市庁舎周辺エリアは誰でも気軽に立ち寄れるような場所であって欲しい
- ・市民が集まれる憩いの場になって欲しい
- ・市庁舎の周辺に行く機会は少ないが、行きやすい空間、お店などが出来れば行ってみたいと思う
- ・自然の涼風を感じる事のできる空間を創出して欲しい
- ・災害時に帰宅困難者が安心して短期滞在できるような空間も確保して欲しい
- ・年配の方や体に不自由がある方でも安心して利用できるような、誰でも行きたくなる場所になって欲しい
- ・見た目が美しいだけでは無く、本当のユニバーサルなエリアになって欲しい
- ・税金の無駄遣いにならないように取り組んでほしい
- ・市庁舎よりもっとお金をかけるべき課題があると思う

全 770 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

【性別】



【年代】



【区】

